

受付	令和 5年 2月 20日
	午前・午後 11時 40分

## 一 般 質 問 通 告 書

令和 5年 2月 20日

高山村議会議長 西原 澄夫 様

高山村議会議員 高井 央葉

質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
加工施設、加工品研究を	<p>高山村は、果樹を中心とした農業が盛んであり、これまでも加工施設を作って欲しい等の希望は多いが、一言で「加工施設」と言っても「何を」「どのように加工するか」、それによって「どんな設備が必要か」そして「安全性の試験」や「商品化」まで、多くの研究が必要である。チームを作って取り組んではどうか。</p>
	<p style="text-align: center;">質 問 要 旨 と 質 問</p> <p>① 加工施設、特産品開発等について、現在、村ではどのように考えているか。  ② 加工施設については、それを希望している農家の方、加工施設をやることを考えている方、また、現在農業などをしていない方でも加工施設等について興味をお持ちの方々など、広く集まって、情報交換、共有しながら、村民協働の中で考えることが有用と思うが、いかがか。  ③ 加工品の企画から試作、分析、評価、商品化、販路開拓まで一貫した支援を行っている長野市にある「長野県工業技術総合センター・しあわせ信州食品開発センター」を利用することで加工品について研究していけるかと思うが、いかがか。  ④ 加工施設研究と共に、荒廃農地を利用した農産物についても同時に考える中で荒廃農地利用や鳥獣害対策をしながら地域力を上げていくなど総合的に考えて行けると思うが、いかがか。</p>
質 問 事 項	質 問 の 趣 旨
自治体公式 LINE の導入を	<p>スマホやタブレットなどの普及に伴って「自治体公式 LINE」を導入している自治体が増えている。高山村でも導入してはどうか</p>
	<p style="text-align: center;">質 問 要 旨 と 質 問</p> <p>① 村では現在、広報、情報無線、ホームページ、また Facebook などを使った情報発信を行っているが、それはそれぞれ利点もあり、必要であるが、端末に直接届く「公式 LINE」は、情報をより身近に感じられたり、確認が容易になったりすることが考えられるため、導入することにより、より村の情報が村民に伝わりやすくなると思うが、いかがか。  ② 最近では SNS カウンセリングの需要が増しており、LINE を活用したメンタルケアを実施する自治体も増えているとのこと。特に高山村は住民同士が近く、それは良いことだが、困ったときの相談には行きづらいといった声も聞かれるため、LINE を活用することにより、より相談しやすい環境づくりが可能と考えるがいかがか。  ③ 導入にあたっては、スマホ、タブレット講座等を、村の若い人の力を借りながら開催することで、世代間交流の機会も増えていくと考えるがいかがか。</p>

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。